



平成23年7月19日

「干潟ウォッチング」を開催します！

香川大学瀬戸内圏研究センターは、7月23日（土）に小中学生を対象とした「平成23年度 干潟ウォッチング」を開催します。これは、生き物観察や小実験などの「生きた体験」を通して瀬戸内海など身近な自然環境への関心を促すとともに、環境保全への理解を増進させることを目的として開催するものです。

新川・春日川河口干潟での生き物観察や、大学附属の調査船「カラヌス3」を使用してのプランクトン採取など体験型のイベントとなっております。

1. 日時

平成23年7月23日（土） 9：00～16：00 ※小雨実施

2. 場所

新川・春日川河口干潟、香川大学庵治マリンステーション（高松市庵治町鎌野）

3. 対象

小学生・中学生 ※小学生は保護者同伴。

4. 参加者

29名

5. 行程（予定）

高松駅集合～生物観察（新川・春日川河口干潟）～瀬戸内海海上（大学附属調査船へ乗船）

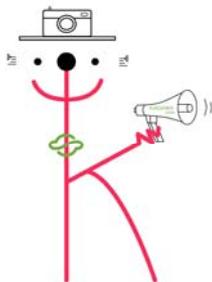
～小実験（香川大学瀬戸内圏研究センター庵治マリンステーション・高松市庵治町）～高松駅解散

6. 共催

香川県（環境森林部 環境管理課）

7. その他

雨天中止等は、以下の本学研究協力グループ、もしくは香川県環境管理課までお問い合わせ下さい。



お問い合わせ先

- 香川大学 学術室 研究協力グループ 井上
- TEL：087-832-1316
- メール：tikyosenm@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

当日は次のような観察を予定しています。



○ 干潟の生き物観察

※ 干潟には、干潟上を動き回るカニや巣穴から出入りするカニがたくさんいます。



コメツキガニ



マメコブシガニ

※ 干潟には干潟上をはい回る巻貝や泥の中に潜っている二枚貝もたくさんいます。



ウミニナ



アサリ

※ 色々なエビの仲間も見つかるかな？



○ 香川大学の観測船で調査

干潟の沖合いに観測船をとめて、海水にすんでいるプランクトンを採集します。

プランクトンは干潟生物のエサ。貝やゴカイの幼生が見つかるかも？

○ 生物の名前を調べる

香川大学瀬戸内圏研究センター庵治マリンステーションで、干潟や海で取った生き物の名前を調べます。プランクトンなどの目に見えない生き物には顕微鏡を使います。その他に、干潟の生き物を使った小実験も行います。

*香川大学の多田教授・山口准教授(農学部)・一見准教授(瀬戸内圏研究センター)と学生の皆さんが観察の指導をしてくれます。(写真提供 同大学)